

科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第21回）議事要旨

- 【日時】 平成23年5月30日（月）9:30～12:30  
【場所】 日本学術会議 5-C（1）会議室  
【出席者】 岩澤委員長、長野幹事、浅島委員、山岸委員、五條堀委員、平委員、永宮委員、小林委員、山本(正)委員、矢川委員、白田委員  
事務局：石原参事官、中島上席調査官 他

【議題】

- 1) 前回議事要旨（案）の確認
- 2) 物理学・工学、地球惑星科学分野ヒアリングについて
- 3) 今後の進め方について
- 4) その他

【資料】

- |     |                            |
|-----|----------------------------|
| 資料1 | 前回議事要旨（案）                  |
| 資料2 | 中島先生説明資料                   |
| 資料3 | 木村先生説明資料                   |
| 資料4 | 永原先生説明資料                   |
| 資料5 | 藤井先生説明資料                   |
| 資料6 | 北里先生説明資料                   |
| 資料7 | 氷見山先生説明資料                  |
| 資料8 | 浦先生説明資料                    |
| 資料9 | 今後の進め方（案）                  |
| 参考1 | 委員名簿                       |
| 参考2 | 第3回調査結果一覧表                 |
| 参考3 | 第3回調査結果（物理学・工学、地球惑星科学分野抜粋） |

議事

- 1) 本分科会の新委員として白田先生（第一部会員）が任命され、初出席なので自己紹介をして頂いた。
- 2) 前回の議事要旨（案）について下記の修正が諮られ、訂正後了承された。
  - ① 2ページ、上から12行目「昨年の第一回・・・時間がなかったこと、」を削除。
  - ② 3ページ、上から16行目：児玉を兒玉に訂正
  - ③ 3ページ、上から23行目：朝島を浅島に、また五条堀を五條堀に訂正。
- 3) 参考2（43計画一覧表）の以下の訂正と確認が諮られた。
  - ① No.2の備考「新規1計画と統合」は削除
  - ② No.3は辞退ではないことを確認
- 4) 資料2-8と参考2、3については非公開とすることが諮られ、承認された。
- 5) 物理学、工学、地球惑星科学分野のヒアリングが行われた。
  - ① 各計画のヒアリングに先立ち、平先生より本分野の大型研究計画全般について説明が行われた。当初の43計画ではこの分野は6計画であったが、これらを全て一度キャンセルし、本日は新規計画として16計画および工学分野の4計画が紹介される旨の説明があった。ただし、固体地球科学のNo.48とNo.61および宇宙惑星科学のNo.47とNo.60は統合して説明が行われるとのことである。

- ② 中島映至先生（東京大学大気海洋研究所教授、地球表層圏変動研究センター長）より、資料 2 に基づき大気海洋・環境科学領域の新規計画 No. 57, No. 46, No. 58, No. 59 の説明が行われた。
  - ③ 木村 学先生（東京大学大学院理学系研究科教授）より、資料 3 に基づき固体地球科学領域の新規計画 No. 48 (No. 61 と統合), No. 49, No. 62 の説明が行われた。
  - ④ 永原裕子先生（東京大学大学院理学系研究科教授）および藤井良一先生（名古屋大学理事・副学長）より、資料 4 および 5 に基づき宇宙惑星科学領域の新規計画 No. 100, No. 101, No. 102 および No. 47 (No. 60 と統合) の説明がそれぞれ行われた。
  - ⑤ 北里 洋先生（(独) 海洋研究開発機構、海洋・極限環境生物圏領域領域長）より、資料 6 に基づき地球生命科学領域の新規計画 No. 63 の説明が行われた。本計画の基になった 43 計画の No. 22 は最先端基盤事業で採択され、それとの違いが議論された。
  - ⑥ 氷見山幸夫先生（北海道教育大学教授）より、資料 7 に基づき地球人間圏科学領域の新規計画 No. 64 の説明が行われた。
  - ⑦ 浦 環先生（東京大学生産技術研究所海中工学国際研究センター長）より、資料 8 に基づき工学分野の新規計画 No. 43, No. 80, No. 81, No. 82 の説明が行われた。
  - ⑧ ヒアリング後、各計画に対して統合あるいは採否について議論が交わされた。
- 6) 今後の進め方
- ① 7 月 11 日開催予定の臨時総会では計画一覧表（様式は本日の参考 2）を提出することとした。
  - ② 次回の 6 月 13 日までに各分野でマスタープラン（改訂版）に掲載予定の原案を作成する。様式は本日の参考 2 と同じ。
  - ③ 上記の原案を議論の後、採択された計画については、速やかに課題一覧用の項目（締め切り日 6 月 30 日(木)）と課題説明用の A4 版 2 ページの資料の作成（締め切り日 7 月 14 日(木)）を依頼する。

7) 次回の予定について

次回は 6 月 13 日(月)9 時 30 分より開催予定。なお、次々回の 6 月 15 日は 6 月 13 日の予備日とし、6 月 13 日に予定議題が終了すれば、開催しないこととした。

以上